



心ゆたかな たくましい子

学校便り 6月号
平成30年6月4日
御前崎市立浜岡東小

学校教育目標『心ゆたかな たくましい子』 重点目標『気づき 認め合おう』

校長 岡本 敦子

運動会での東っ子のやる気、粘り強さに感動

5月26日に行われた東っ子運動会では、早朝から子どもたちへ熱い応援をいただき、ありがとうございました。

運動会への準備や練習では、東っ子の最大の強みである自主性が様々な場で発揮されました。1・2年生の完成度の高いダンスは、昼休みの2学年入り交じっての練習の賜物です。3年生は、綱引きで勝つための作戦を秘かに立てていました。4年生は、フラッグの振り方をいかにか



＜赤白応援団長の選手宣誓＞

っこよく見せるかにこだわって練習する姿が見えました。5年生は台風の目の作戦と練習を東っ子タイムに繰り返しました。6年生は、学年全体で応援を盛り上げ、1か月間に渡るリレー練習、和っしょい・よっちょれの練習にと休む間もない日々を過ごしました。子どもたちに「成功は準備（練習）の8割で決まる」と言ってきましたが、当日は練習を十分に生かし、そこに子どもたちの真剣さ、最後まであきらめずに取り組む姿が加わり、大成功となりました。温かく御支援下さり、ありがとうございました。

いよいよ6月です。運動会の大成功を子どもたちの自信につなげていきたいと思います。

教育を科学する～「学力の経済学」より

「科学的根拠に基づいて解明する」という言葉は一般的ですが、最近は教育に対しても耳にすることが多くなってきました。例えば、「子どもの学力を上げるために、ご褒美で釣ってはいけませんか」については、親にとって大きな迷いどころです。このことについては、「方法次第では効果がある」という科学的根拠に基づく結果が出ています。実は「テストで100点を取ったらご褒美をあげる」より「宿題したらご褒美」「本を読んだらご褒美」「頭いいね」より「頑張っているね」の方が成績アップにつながるそうです。子どもは遠い将来より近くの将来に満足しやすいという特性を生かすと共に、何をしたらいいのかが明確である方が取り組みやすく、効果も上がるそうです。他にも、「子どもの安心度が高い学級の子どもは学力が高まる」「自己肯定感が高い集団では学力が高まる」とありました。

興味深かったのは、学習、スポーツ、お手伝い等、様々な体験を年齢が小さいときにさせることは、「大人になってからも意欲や興味関心を持続させ、ひいては人生を豊かにすることにつながる」ということでした。様々な体験により獲得していることが、その子の自己否定を阻み、あきらめることなくチャレンジできる精神を育むという結果が示されているそうです。実は力があるのに、自分の力を過小評価したり、あきらめたりすることによって、伸びきれない子どもがいるという現実、残念なことです。

このようなことから、私は小学生の時期は、子どもたちが自己否定せず、過小評価せずに「自分なりに努力すると成長する喜びを実感する経験」を積み重ねていきたいと考えます。自分の子育ての時期にこの事実を知りたかった私です。

参考：『学力の経済学』 中室 牧子 著